

令和6年度 環境学習アドバイザーを活用した環境教育の取組例

◇環境学習アドバイザー：松本 朱実 氏

◇学校名：岩出市立中央小学校

◇学年：1年

◇教科：国語科

◇テーマ：どうぶつの赤ちゃん

◇学習のねらい

- ・児童にとって、親しみのある動物についての学習を通して、生命や環境について考えさせる。

◇学習の流れ

★：環境学習アドバイザー派遣を活用した授業

校時	学習の主な活動	指導のポイント
1～2	いろいろな動物の赤ちゃんの写真を見て、動物の赤ちゃんへの興味、関心を持ち、学習への見通しを持つ。	・初めて知ったことやもっと知りたいと思ったことなど、具体的な観点を示す。
3～7	生まれたばかりのライオンとしまうまの赤ちゃんの様子を比べながら読む。お母さんとの違いや成長過程での親子のつながりについて確認しあい、思ったことを書く。	・比べている観点を意識して、それぞれの赤ちゃんの様子にどのような違いがあるのか気づいたことを発表させ、友達と共有できるようにする。
8★	いろいろな動物の赤ちゃんについて知ろう。	・環境学習アドバイザーからキリンやコアラなどいろいろな動物の赤ちゃんについて説明をしてもらう。

◇実施時期：2月

◇成果

- ・キリンやコアラの赤ちゃんの実物大の模型や写真を見せてもらうことで、国語の授業で学習した内容についてさらに関心を深めることができた。

◇実施の様子（写真）



◇参考

小学校国語 光村図書